

令和8年度第1回庄原市初任者研修会

令和8年4月28日（火） 庄原市役所

「庄原市における教育課題を踏まえ、新任教職員に対して教育推進上の諸課題等について研修を行い、職務遂行上必要な実践的指導力を養うこと」を目的に、研修会を行いました。

【講話】「子供たちの成長に喜びを！」

庄原市教育委員会 教育長 牧原 明人

子供たちがふるさとの学びを原動力に、これからの時代に求められる資質・能力を身につけるために大切なことについて講話を行った。

○教職員として「学び続ける姿勢」を大切に、子供たちの「学びたい」「伸びたい」と思う気持ちを引き出す実践を積み重ねてほしい。

○指導力＝専門性×人間性＋教養であることを忘れず、教育的愛情をもって指導にあたってほしい。

(参加者の振り返りより)

- ・地域との密接なつながり、豊かな自然、地場産物等を活用することで、地域に開かれた教育課程を充実させることが長期的な視点に立った時に必要であると感じた。
- ・子供たちにとって、学校は、様々な力をつけることができる希望のある場ということをおぼろげにしたい。
- ・子供たちは「伸びたい！」と思っている。その気持ちに応えることができるように日々、学び続ける姿勢を大切にする。



【講話・演習】「特別な支援を必要とする児童生徒の指導の在り方について」

庄原市教育委員会 教育部 教育指導課 指導主事 延近 恵

・問題行動の背景に隠れた「困難さ」をアセスメントで捉え、視覚的支援や具体的指示などの手立てを講じることが重要である。

・個別の教育支援計画、個別の指導計画の作成やチーム体制により、組織的・継続的な支援を行うことが必要である。



【講話・演習】「児童生徒との関わり方について」

庄原市教育委員会 教育部 教育指導課 指導主事 末田 和也

・生徒指導は児童生徒の個性を伸ばし、自己実現を支えることを目的としており、主体的に課題を解決する「自己指導能力」を育むことが重要である。

・共感的な人間関係を築き、些細な変化を逃さず、組織で情報共有する姿勢が大切である。



【講話・交流】「社会人としての姿勢について」

庄原市教育委員会 教育部 教育指導課 指導主事 小原 義史

・社会人に求められる資質・能力としてコミュニケーション能力が挙げられる。教職員として、地域や社会の多様な組織等と連携・協働できる力が重要である。

・身だしなみ、挨拶、敬語や言葉遣いを適切にすることで、コミュニケーションが円滑になる。また、先生として子供の見本となるように努める必要がある。



(参加者の振り返りより)

・個性、その子供の良さを伸ばすという視点をもって、子供たちをよく観察しながら、必要に応じた支援を行っていききたい。

・県教委の資料を再確認し、児童生徒との関わり方について見直したい。一人一人に応じたアプローチで子供たちを育てていきたい。

・課題解決にはチームで取り組むことが大切であり、コミュニケーション能力の重要性を感じた。